

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：特定非営利法人 環境・福祉事業評価センター	所在地： 長野県長野市南高田2-5-16
評価実施期間：令和3年9月29日から令和4年2月18日	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050301 B15021 B16024	

2 福祉サービス事業者情報（令和3年12月現在）

事業所名： （施設名）箕輪町 上古田保育園	種別：保育所	
代表者氏名： 町長 白鳥 政徳 （管理者氏名）園長 武井孝子	定員（利用人数）： 90（51）名	
設置主体：箕輪町 経営主体：箕輪町	開設（指定）年月日： 昭和28年4月20日	
所在地：〒399-4601 上伊那郡箕輪町大字中箕輪6031番地3		
電話番号：0265 79 2790	FAX番号：0265 79 2790	
電子メールアドレス：kamifuho@town.minowa.lg.jp		
ホームページアドレス：Town.minowa.nagano.jp		
職員数	常勤職員： 5名 非常勤職員 10名	
専門職員	（専門職の名称） 名 保育士 9名	
	園長 1名 調理員 1名	
	保育士 3名	
	調理員 1名	
施設・設備 の概要	（居室数） （設備等）	
	乳児室 1室	滑り台、ブランコ、雲梯、鉄棒、太鼓橋、ジャングルジム、上り棒
	ほふく室 1室	
	保育室 3室	
	調理室 1室	
	事務室 1室	
	遊戯室 1室	
和室 1室		

3 理念・基本方針

箕輪町の保育理念

子ども一人一人を大切に、保護者や地域に愛される保育園を目指します。

箕輪町の保育方針

養護と保育を一体的に行い、子どもの発達を援助します。

保護者の気持ちを受け止め、共に子育てをします。

箕輪町保育目標

- 1 元気よくあいさつしよう
- 2 自然のなかで伸び伸びとあそぼう
- 3 やさしい気持ちをもとう

上古田保育園目標

- 丈夫な身体、元気な子ども
- 明るくやさしく、素直な子ども
- みんなと仲良く遊べる子ども
- あいさつの出来る子ども

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

上古田保育園は昭和28年に開設され、箕輪町で最も標高の高い上古田地区に位置し、南アルプスを一望できる自然に恵まれた場所にある。冬はスケート遊びができる。当保育園の子どもはほとんど西小学校に入学するため、地域の方との繋がりが強い。

定員は90名で入所児童は51名と箕輪町8園の中では小規模な保育園であり、長時間保育、未満児保育、障がい児保育、ふれあい保育、育児相談・未就園児への園開放(のんたん)を行っており、一時預かり保育、乳児保育、土曜保育を除くサービスを実施している。

箕輪町では「箕輪町第5次振興計画(2016年~2025年)及び「箕輪町子ども・子育て支援計画(令和2年~令和7年)」が策定されている。上古田保育園ではこの計画に基づきグランドデザインを作成し保育園保育方針や保育目標を実現するためひと味ちがう箕輪の子育ての育成事業の推進している。

【園の方針】

<健やかな子どもの育ちを支えます>

心にのこる絵本の読み聞かせ活動をします

自然の中での活動に充実を図ります

異年齢での散歩(・水仙畑・花桃畑・あやめ畑・伊那梅園・赤そばの里・野の道など)

戸外遊びに時間を十分確保する

運動あそびに充実を図ります

運動遊びの工夫

冬期スケート遊びなど

食育活動

野菜作り・クッキング活動 食への関心をもつ

エコ活動

SDGs・エコ回収

あいさつ活動の推進

家族で・保育園で・地域で・気持ちのよい挨拶をする

開かれた保育園

地域との交流

- ・ふれあい保育・地域の文化祭に園児の作品出品
- ・中学生の体験学習受け入れ・小学校との交流・未就園児との交流
- ・地域活性化グループ（Eグループ）や農家の集まり（みたま会）などの交流

子育てパートナーとしての保護者支援をします

育児相談窓口として、子育て支援

家庭支援として 希望個人懇談 親子読書のすすめ

保護者の子育て応援として 保護者保育参加実施

【特色ある保育】

信州型自然保育「やまほいく」

信州型自然保育「やまほいく」の認定を受け、積極的に身近な自然に触れる保育を取り入れ、水仙畑、ちゅうりっぷ畑、あやめ畑、かたくりの里、青あさがお畑への散歩、栗拾いやスケッチ等で自然の物を使って遊びに取り入れるなどの自然保育を実施している。

「戸外あそびや運動あそび」

箕輪町で春は毎日のように散歩に出かけ、草花を見たり、摘んだり、土手に行ったりし、秋は野山でゲームをし、冬はスケートをして幅広く遊んでいる。「運動遊び」を通じ、運動で体を動かして遊ぶ楽しさを知るあそびを実施している。またサッカー教室を行っている。

「読育」

豊かな心を育むことを目的に毎日各クラスで絵本の読み聞かせを行っている。また、毎週木曜日に絵本の貸し出しを行っている。

「食育」

食育計画に基づき、年齢ごとに目的をもって取り組んでいる。園の畑等でパセリ、きゅうり、ミニ大根等の野菜を作り、クッキング活動として野菜の下ごしらえをして食育集会で楽しんでいる。

地域との交流

ふれあい保育等で地域のお年寄りと交流しているがコロナウィルスの影響で一部実施ができなかった。地域との結びつきが強く地域活性化グループと積極的に交流している。未就園児との交流では「のんたんの日」を設けて実施している。また保小連携では保小連絡会を随時開催し連携している。

保護者との連携

家庭訪問の実施、保育参加や保護者会との連携による遠足、運動会・ごっこ遊び・クリスマス会で保護者と共に子どもに関わる関係作りに取り組んでいる。個別懇談、保育参加後の懇談会、育児相談等により子育てのパートナーとして保護者を支援している。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	今回が初めて
---------------	--------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

特に良いと思う点

利用者満足度が高い。

利用者調査の結果から、総合的感想では92%の方が満足となっており利用者満足度は高い。その中で保育園の基本的な考えを知っている割合は7割と高く、人権の尊重や園の基本的考え方に納得している。特に評価が高い項目は、「園が落ち着いて過ごせる雰囲気がある。」、「園に気軽に声かけできる。」、「給食のメニューは充実している。」、「散歩等で戸外に出かける機会が多い。」、「発育や意欲を促すような活動・遊び等が行われている。」、「良い所や個性を認めている。」、「保育姿勢や対応のばらつきが少ない。」、「園での様子を気軽に話を聞ける。」、「残業や不規則な業務への対応が柔軟。」、「発熱や病気への対応は適切。」、「おたよりや連絡帳で日々の様子がわかる。」、「悩み等気軽に相談できるである。」特に「お迎えの時に、お子さんが満たされた表情や喜んで表情をしていることが多い。」という質問は全員が「はい」と回答しており満足度が高く質の高い保育を実施している。

信州やまほいく「信州型自然保育」により子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。

積極的に身近な自然に触れる保育を取り入れ、水仙畑、ちゅうりっぷ畑、あやめ畑、かたくりの里、青あさがお畑への散歩、栗拾いやスケッチ等で自然の物を使って遊びに取り入れるなどの自然保育を実施している。春は毎日のように散歩に出かけ、草花を見たり、摘んだり、土手ころがったりし、秋は野山でゲームをし、冬はスケートをして幅広く遊んでおり長所として評価できる。

業務支援システムを導入しITC活用で園の運営を改善している。

箕輪町では全園で令和元年度から「箕輪町保育園業務支援システム」を導入している。導入の目的は園児の台帳管理、健康記録、登降園管理、年間計画作成などの業務を支援するシステムを導入することにより、保育士の業務負担軽減を図り、保育士がさらに保育の質の向上に取り組み、よりよい保育サービスの提供を行うものである。令和2年から導入が始まり、2年目を迎えている。クラウドシステムにより、ノートパソコンやタブレットによりセキュリティに配慮し、保護者もアプリでスマートフォンを使用し連絡ができるようになっている。出席簿、健康管理、発達記録、指導計画等が標準化されている。月間指導計画、週間指導計画は園全体で共有でき反省や評価も丁寧に行われている。災害対応でも、その効果を発揮できると期待できる。他の市町村と比較して先駆けて取り組んでおり特に良い点として推奨できる。

特に改善する必要があると思う点

利用者が意見を述べやすい環境の整備

第三者評価受審に伴い実施した保護者アンケートでは、保護者から園の保育内容や

施設管理に関わる園への期待を込めた多くのコメントが寄せられている。評価項目にもあるように、自ら利用者（保護者）アンケート等を実施する事により、これらの声を受け取る事ができる。特に無記名のアンケート実施や「コドモン」を利用したアンケート等による要望をさまざまな方法で入手することを期待する。

園児が散歩で利用する道路の安全強化

上古田保育園は箕輪町の郊外の上古田地区の中心に位置し、交通量も多い道路もある。また、園外の遊園地へ外遊びや近隣の公園への散歩に出かけている。令和元年5月に大津市で散歩中の大勢の園児が死傷する事故が発生した。園では、これら散歩コースの危険調べを実施し、危険個所を洗い出し安全な散歩ができるように取り組んでおり、保育士に周知されている。

上古田保育園では危険マップを作成し、危険個所の洗い出しと共通認識を図っている。大津市では事故後「キッズゾーン」の設置を全国に先駆けて設置する事例が報告されている。園児の散歩コースについては、道路の速度を制限する「ゾーン30」の指定やその道路を通行する運転手等には速度制限について明示する路面標示を増やしたり、また「スクールゾーン」に準じ、時間帯を限定し歩行者の専用道路にするなどの「キッズゾーン」の設置、「スムーズ横断歩道」等の横断歩道、道路の塗装、速度制限、ガードレールや反射鏡の設置など歩行者の安全について、さらに自治体、西小学校、地域住民、警察、道路管理者と協力して取り組むことを期待する。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

共通項目（別添1）

内容評価項目（別添2）

8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合（別添3 - 1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）

（令和4年2月16日記載）

災害や道路交通、防犯等の安全面について意識を持ち取り組んでいるが、園独自では難しく、地域とも連携して行っていく必要があると感じました。

その中で、保育園で出来ることは何か、改善出来ることは何か、検討していきたいと思います。

保護者へのアンケートでは、保育園のことを日頃どの様に捉えているのか知ることが出来て良かった。見えづらい部分や理解されていないことを、今後意識して理解してもらえるように努めていきたいと思います。